

## 第4回 蕨市庁舎整備検討審議会 会議概要

■日 時 平成29年8月31日（木） 午後2:00～4:00

■場 所 市役所4階 第1委員会室

■出席者 （敬称略）

委 員：林大樹（会長）、齊藤正人（副会長）、池上智康、山脇紀子、高橋悦朗、秋山滋雄、牛窪啓詞、岡本和子、木下幹央、藤井康榮、市村眞、大貫芳枝、松本和敏

事 務 局：川崎文也（理事）、佐藤慎也（総務部長）、高橋稔明（都市整備部長）、根津賢治（総務部次長兼政策企画室長）、飛澤正人（都市整備部次長兼建築課長）、丸山友之（まちづくり推進室長）、田熊純也（政策企画室室長補佐）、伊東安治（政策企画室公共施設マネジメント推進担当係長待遇）、森本悠理（政策企画室公共施設マネジメント推進担当主事）、山本健司、長谷川導、勝山聡美（株式会社建設技術研究所）

### ■次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 前回の議事概要について（確認）
4. 議題
  - (1) 第3回会議における質問・確認事項に対する説明
  - (2) 庁舎耐震化整備方法に関する市民アンケートの結果報告について
  - (3) 蕨市庁舎の整備の基本的な在り方について（答申について）
  - (4) その他
5. 閉会

### ■内 容

#### 【開会】

事務局から、開会のあいさつを行った。

#### 【会長あいさつ】

会長からあいさつを行った。

#### 【前回の議事概要】

事 務 局：前回の議事概要について修正点がないか確認したい。修正がなければ、これ

を持って、議事概要を確定し、市役所の 1 階市民活動推進室閲覧コーナーと市ホームページで公開する。

【議題】

- (1) 議題 1：第 3 回会議における質問・確認事項に対する説明  
事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長：質疑はあるか。特になければ次に進むこととする。

委員一同：意見なし。

- (2) 議題 2：庁舎耐震化整備方法に関する市民アンケートの結果報告について  
事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長：質疑はあるか。

委 員：問 3 の耐震化の整備方法は、年齢により回答の傾向に違いはあったか。

事 務 局：集計した結果、年齢によって耐震化整備方法の意見が大きく異なることはなかったもので、審議会の資料には掲載していない。

委 員：無回答が 46 件あるが、整備しなくてよいという意見はあったか。

事 務 局：回答がなかったものを無回答としている。

委 員：自由回答にはどのような意見があったか。

事 務 局：集計中であるが、回答者 1,354 人のうち、555 人に記述をいただいている。主な意見としては、「安心・安全で災害時の拠点となる庁舎を整備してほしい」「費用対効果が高い現在地で建替えがよい」「早期に耐震化（耐震補強、建替え）を進めるべき」「交通利便性がよい駅西口再開発事業において整備してほしい」「お金をかけないで耐震化（耐震補強・建替え）をすすめてほしい」「駐車場・駐輪場を広く整備してほしい」といったものが多かった。

委 員：自由回答の集計結果は公表するのか。

事 務 局：主な意見については公表する予定である。

副 会 長：回収率 45.1%は、市の他の調査と比べて標準的か。

事 務 局：市民意識調査の回収率は近年上昇しているが、本調査の回収率は高いほうであり、市民の関心の高さが伺える。

- (3) 議題 3：蕨市庁舎の整備の基本的な在り方について（答申について）  
事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長：質疑はあるか。答申（素案）から、答申（案）になるよう議論を行いたいと

考えている。鏡文は後ほど議論することとし、先に 2 ページ以降について議論したい。

① 2 ページ「1 市役所庁舎の整備方法（耐震改修か建替えか）について」

委員：委員から出された意見をまとめているとのことだが、市の庁舎整備検討報告書にあるような整った意見は発言されていないと思う。誰がいつ発言したのかを教えてほしい。

事務局：答申書の形に整えるため、事務局説明の趣旨は委員に理解されたと考え、説明の表現を使って記載しているものもある。適宜加筆・修正してほしい。

会長：事務局の説明について議論して、疑問点について理解したことは確かだと思うので、「次のような意見が出されました」という表現は、「次のような説明及び意見が出されました」に改めてはどうか。

委員：審議会としてのまとめ方はその方が正しいと思う。

委員：災害はいつ起きるか分からない。現庁舎の耐震性は不足しているので、今後建替えを行う場合も、仮庁舎に移転する前の使用期間に多少の補強を行わなくてもよいのか。

事務局：平成 23 年度に層崩壊を防ぐ軸耐力補強工事をすでに実施しており、現時点では追加の補強は考えていない。

委員：結論の 4 行目「長期的な費用対効果」という内容は、耐震改修か建替えかについての答申として必要な表現なのか。

事務局：庁舎整備検討報告書や市民アンケートの添付資料において、各整備手法について「1 年間当たりの費用」を示しており、それらを踏まえて議論されたという認識があったので記載している。

委員：「『現庁舎を耐震補強』は、在来工法による耐震改修工事を行うため、地震の揺れによる建物内部への影響は避けられず、継続的な行政機能の維持ができなくなる可能性がある。」とあるが、「在来工法による耐震化では鉄骨ブレースなどの補強が必要となり、庁舎がより狭隘化する」というような直接的な表現に整理したほうが分かりやすいと思う。

事務局：A②案の免震補強や免震工法の採用を前提とした B 案は揺れの影響が少なくなる一方で、A①案の在来工法は、書棚や什器が倒れるなど揺れの影響は避けられないことを示した文章である。

委員：承知した。

② 3・4 ページ「2 建替えの場合の建設場所について」

会長：冒頭の「次のような意見が出されました」は、2 ページ目と同様に、「次のような説明及び意見が出されました」に修正した方がよいと考える。

事務局：承知した。

- 委員：3点目の「災害発生時の道路渋滞や鉄道の運行などの交通状況を想定すると、防災機能面に課題を残す可能性もある。」について、審議会でこのような発言があったのか。
- 事務局：第3回審議会会議概要(案)6ページの下から3つ目の意見を踏まえている。
- 委員：承知したが、蕨駅から西川口駅方向に京浜東北線と並行している県道は、災害時の緊急輸送道路に指定されているのか。指定されている場合、「災害発生時の道路渋滞」という表現と矛盾しないか。
- 事務局：指定されていない。市内で指定されている道路は国道17号と産業道路のみである。
- 委員：防災上は弱い道路であるということは理解した。
- 委員：市民アンケートは、ただ〇をつけただけであり、市民がどこまで考えて回答したものか分からない。審議会の意見と同列に扱うことは疑問である。
- 委員：今の発言は市民に対して失礼である。審議会の方が的確な判断ができて、市民は考えていないというのは適切な意見ではない。
- 委員：市民アンケートの結果については、「1 市役所庁舎の整備方法（耐震改修か建替えか）について」と「2 建替えの場合の建設場所について」の両方に載せれば、より市民の意向を尊重できるのではないか。
- 委員：まず、答申に載せるかどうかを決めるべきではあるが、もし、載せるのであれば、市民アンケートの結果を踏まえたうえで、審議会はどのように考えたという表現がよいと思う。
- 委員：参考意見として3番目の項目を立てて、市民アンケートの結果を載せるのが、市民にも分かりやすいのではないか。
- 事務局：答申のまとめ方について「次のような説明及び意見があった」という表現にするのであれば、審議会でも市民アンケートの結果についても説明しているので、答申に載せても問題ないと考える。委員の指摘にあったように2つの諮問内容に係る内容であり、両方に載せる案を考えたい。
- 委員：市民アンケートはあくまで市が作成したものであるが、重要な参考意見として結果を尊重しなければならない。前回も意見を述べたが、現庁舎は建設から半世紀ほど経過しており、新庁舎もそれ以上もつものとする。今後の長期的な少子高齢化の動向を考えると、合意形成に時間を要することは懸念であるが、限られた費用のなかで有効な施設をつくるため、小学校敷地の活用について市民アンケートに入れてほしかった。一部の市議会議員や商工会議所からも要望が出ており、答申にあるように重要な視点であるとする。
- 委員：市民アンケートの結果は、事前に見てはいるが、本日初めて説明を受けたものであり、細かい議論は行っていない。別に分けて載せてはどうか。参考としての情報共有になるが、市内で話を聞くと、駅西口再開発事業で整

備した場合、市の保有する権利だけでは庁舎に必要な面積の確保は難しく、市の負担などクリアすべき問題も多いようである。また、河鍋暁斎の作品や双子織など、蕨らしい地域資源が市民の目に留まるようにするなど、市民と行政がいろいろなところで協働していくことが大切である。

委員：行政は日本全国同じような傾向があるが、文化・歴史がある蕨を考えると、何らかの形で蕨らしい色がついたユニークな庁舎があってもよいと思う。

委員：市民アンケートでは、耐震化整備方法について、諮問の内容を一括して尋ねている。問3の部分を「整備方法（耐震改修か建替えか）に係る部分」と「建替えとした場合の建設場所に係る部分」に分けて整理し、「1 市役所庁舎の整備方法（耐震改修か建替えか）について」にも載せるのがよい。

委員：市民アンケートの調査結果はまだ公表していないのか。

事務局：本日はじめて結果を報告したものであり、未公表である。公表する場合は、本日配付した冊子と同じ内容で行うことを想定している。

委員：公表するのであれば、答申書の中に市民アンケートの項目を立てるのではなく、それぞれの諮問に対する意見の中に織り込んだ方がよい。

委員：審議会での審議と市民アンケートは同時進行のため、市民の意見に対して審議会の考えを述べる現状の表現を残して、2 ページ目にも同様な表現を入れた方がよい。

会長：各委員の意見を踏まえると、市民アンケートについては、答申の2か所に記載するという意見が多かったと思うので、「1 市役所庁舎の整備方法（耐震改修か建替えか）について」にも追記するということでよいか。

委員一同：了承。

委員：記載位置については、「1 市役所庁舎の整備方法（耐震改修か建替えか）について」は最後に入るのがよいと思う。「2 建替えの場合の建設場所について」も同様に、現在の5番目ではなく最後に入るのが適切ではないか。

会長：そのように修正してもらいたい。市の文化・歴史に関する意見は、「2 建替えの場合の建設場所について」と5ページ「3 今後の市庁舎整備についての参考意見」の最終部分のうち、どちらで強調すべきと考えているか。

委員：4ページの結論部分で歴史・文化の記述を強調してはどうか。

委員：参考意見に入れてもらうことで了承してもらったと考えている。また、「駐車場の台数確保やイベント時開放など利便性向上を図ること。」とあるが、駐車場については重要な指摘と考えている。

会長：事務局で表現を検討してほしい。

委員：4ページに「中心的な場所」とあるが、何をもって中心となるのか。今後、中心の位置としてふさわしいかも不明であり、「かつて中心的であった場所」などにしてはどうか。

- 会 長：事務局で表現を検討してほしい。
- 委 員：結論の理由部分については、優先順位の高い項目から列挙すべきと思うが、現状の並べ方はどうなっているか。早期実現性も優先順位としては高いと考える。
- 事 務 局：庁舎整備の目的としては、防災及び行政サービスの拠点として安全性を確保することが特に重要と考える。そして、その目的達成のために長期的な費用対効果を考慮しており、次いで市民との合意形成と早期実現性が一体となっており、最後にまちづくりの観点で上位計画を記載している。優先順位はなかなか決めにくい。
- 委 員：「上位計画との整合性」という表現は行政が使用する用語であり、一般の市民にとって分かりやすい表現にしてはどうか。
- 委 員：「交通利便性」については、これまでの審議でも出ていたと思うので盛り込んでほしい。
- 会 長：事務局で表現を検討してほしい。
- 委 員：審議会としては最終的には「現在地で建替え」という結論になっているが、印象ではなく、定量的にどの場所がよいか比較検討したものは整理されているか。利便性や費用対効果など、検討の際の優先順位が分からないと審議会でなんとなく決定したことになる。
- 事 務 局：一番重要な費用対効果については今年度改めて精査しており、一つ定量的な評価があると考え。各項目について点数化は行っていないが、根拠としては答申書 3・4 ページの内容で説明できると思う。
- 委 員：審議会の外部で建替え案をよく思わない人に対しても説明ができる必要がある。費用対効果や上位計画との整合性など同列に評価できない項目があるので、定量的に重み付けして、「現在地での建替え」が総合的にふさわしいと整理されたと示せるとよい。
- 事 務 局：庁舎整備の最終的な方向性は審議会の審議と市民アンケートをもとに判断したいと考えている。審議会が長期に続くなら可能かもしれないが、今から点数化して皆さんから意見をもらい、答申に一つ一つ重み付けをして記載するのは難しいので、事務局としては「総合的に判断」と記載させてもらいたい。表現がよくないのであれば議論したい。
- 委 員：表現については「総合的に判断」で問題ないが、その根拠として項目ごとの優先判断基準を設けて検討したデータを整理していないと、説明する際に困ることになりかねない。
- 事 務 局：第 3 回審議会でも耐震性や老朽化、経済性などについて、◎・○・△などで説明しているが、点数づけまでは議論していないので、「総合的な判断」ということでしか表現できない。経過がないと説明しづらい。

副会長：点数が出るとみんながよく分かることは確かだが、点数を用いて横並びで評価することは学術的にも難しい。仮に定量評価を行う場合は、事務局がまず点数づけしたものを、専門家を交えた会議で正しいか評価した後に、市民に対して説明する形式になると思う。各委員は印象ではなく、様々な観点で責任をもって真摯に議論しており、その中で優位に立った意見が議事録に書かれている。それを集約したものを提示することが説明としては限界であると考ええる。

会長：答申はこの形でよいと思う。点数付けは行われていないが、審議会としても評価した考え方はあるので、事務局は質問があった際に説明できるよう整理しておいてほしい。

委員：これまで会長が諮問内容を何度も説明して、各委員は一言ずつ意見を述べてきたが、概ね「現所在地建替え」で統一されていたと思う。議論が停滞して前に進まないのも、審議会として全体の意思統一が必要でないか。

会長：「現所在地建替え」という結論については賛成したということによいか。

委員：問題ない。

委員：反対する人がいた場合は、ここで審議した内容を思い出して話すしかないのではないか。

委員：個人の意見は尊重してよいが、違う意見を持った他の人から経緯を聞かれた際に、単に総合的に判断ということだけでなく理由を定量的に示せば説明しやすいと思ったが、それが難しいことは理解した。

委員：箇条書きの順番には議事録の時系列など意図があるのか。見たときにイメージアップにつながる蕨の歴史・文化に関する文章を先頭に置くなどストーリー性があった方が分かりやすい。順番を再検討してもらえればありがたい。

事務局：ストーリー性を持たせられるよう順番を再検討する。

委員：4ページの結論部分は重要である。「市の上位計画」という表現は「まちづくり」のような言葉に変更すると思うが、蕨の文化・歴史など蕨らしさに関する言葉が入ると説明しやすくなると思う。

事務局：上位計画との整合性の文言を見直し、文化・歴史の背景を盛り込みたい。

### ③ 「3 今後の市庁舎整備についての参考意見」

会長：参考意見については何か意見があるか。

委員：色々な意見を網羅していると思うが、これが全てではないのではないか。

事務局：今までの審議会の議事録を確認して記述しているが、主な内容としてまとめたものもあるので言葉やニュアンスの違いなどがあれば、加筆・修正したい。

委員：「親しみやすい庁舎として食堂又は売店」は表現が具体的過ぎるので、例えば、「市民にやさしい便利な機能」、「気軽に利用しやすい機能」などに変

更してはどうか。また、庁舎整備の基本方針は設計を行ううえで必要になると考えるが、策定手法はどのように決めるのか。

事務局：建替えになった場合、来年度以降、基本構想・基本計画の策定を進めるのでその際に検討したい。他自治体の事例では、審議会や懇談会などを開催し、有識者や市民の意見を入れて策定しているようである。

委員：駐車場がギリギリで少ないがどうするのか。庁舎を上には伸ばせないのか。

事務局：建築面積を抑えれば駐車場の面積は確保できるが、1層あたりのフロア面積が狭くなる。重要な視点であるため、市役所内部の機能との兼ね合いも考えて、来年度以降に検討したい。

委員：市役所の近くにある有料の駐車場は市の管理か。

事務局：市の管理であるので、空いていれば使って問題ない。

委員：上位計画に関連して、第1回審議会で、「市役所の建替えは市単独の問題ではなく、地域の課題解決に貢献するようなまちづくりの視点で行われることがふさわしい」と意見したが、記載されていないのではないか。

事務局：記載漏れであるので追記したい。

#### ④ 鏡文について

会長：文面は市のフォーマットとして定型的に決まっているのか。

事務局：概ね定型的な文章である。

委員：最後の「期待いたします」は「期待」という表現で問題ないのか。

事務局：定型的な表現である。

委員：「期待」ではなく、「希望」ではどうか。

会長：「期待」のほうが強い表現であれば、「期待」でよいのではないか。

委員：「5回の会議を重ね」とあるが、会議形態が審議会であるにも関わらず、「会議」という表現でよいのか。

事務局：「5回の審議を重ね」という表現に変更したい。

委員：「専門的な知見を有するコンサルタントが精査した事業費等も踏まえて慎重に審議した結果」とあるが、審議会を進めるにあたっては、学識経験者のお二人の導きも大きかったと考えるが、会長が答申するので自身のことを記載する必要はないということか。

会長：記載する必要はないと考える。

#### ⑤ 資料について

会長：資料も定型的な形式か。

事務局：そのとおりである。

会 長：以上を踏まえ、答申（素案）を修正してほしい。修正作業は、事務局と調整しながら行った後、答申（案）として、各委員に送るので確認してもらいたい。修正のスケジュールはどうか。

事 務 局：9月上旬に会長と調整を行い、最終確認が終了次第修正したものを各委員に送る。1,2回程度は各委員とやり取りを行いたい。

(4) 議題 4：その他

事 務 局：今後の予定としては、第 5 回審議会は、10 月 11 日（水）午前 10 時からの開催となる。各委員からは一言ずつ感想を述べてもらいたい。また、会長には市長へ答申書の提出をお願いしたい。

会 長：第 5 回審議会当日に答申（案）の修正が発生しないよう、事前に完成した形にしたいので、修正の意見があれば 9 月中にお願いしたい。

委 員：修正の意見があった場合はどうすればよいか。

事 務 局：会長と事務局で修正した答申（案）を各委員へ送付するので、意見があれば設定した期限までに事務局へ伝えてほしい。反映の仕方については会長と相談して検討し、何度かやり取りを行いたい。

会 長：それでは他に意見がないようなので、予定した議事は終了となる。事務局に進行を返す。

事 務 局：本日はありがとうございました。以上をもって第 4 回の審議회를終了する。

以上